

# 2020年度決算の概要

2021年5月14日

みずほフィナンシャルグループ

MIZUHO

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものを参照ください。

## 組織の略称

FG : みずほフィナンシャルグループ  
 BK : みずほ銀行  
 TB : みずほ信託銀行  
 SC : みずほ証券

RBC : リテール・事業法人カンパニー  
 CIC : 大企業・金融・公共法人カンパニー  
 GCC : グローバルコーポレートカンパニー  
 GMC : グローバルマーケットカンパニー  
 AMC : アセットマネジメントカンパニー

## 為替レート

管理会計（計画レート）

	20年度計画レート
USD/JPY	108.00
EUR/JPY	118.80

財務会計（期末TTM）

	20/3末	21/3末
USD/JPY	108.83	110.72
EUR/JPY	119.65	129.76

## 計数の定義

**連結業務純益** : 連結粗利益－経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整

**ETF関係損益等** : ETF関係損益（2行合算）+営業有価証券等損益（SC連結）

**顧客部門** : RBC、CIC、GCC、AMCの合計

**市場部門** : GMC

**経費（除く臨時処理分等）** : 経費（除く臨時処理分）－のれん等償却

**親会社株主純利益** : 親会社株主に帰属する当期純利益

**グループ合算** : BK、TB、SC、及び主要子会社等の合算（管理会計）

**2行合算** : BK単体+TB単体（財務会計）

**連結ROE** : 当期純利益÷（株主資本+その他の包括利益累計額（その他有価証券評価差額金を除く））

### 普通株式等Tier1比率（その他有価証券評価差額金を除く）

: ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む  
 [分子] その他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益を控除  
 [分母] その他有価証券評価差額金（株式）見合いのリスク・アセットを控除

### バーゼルⅢ・新規制・完全適用ベース

: バーゼルⅢ最終化による影響を考慮した試算値。資本フロアについては、標準的手法によるリスク・アセットから引当金見合いを控除して算出

# 決算の概要

(億円)	20年度	前年度比
連結粗利益 + ETF関係損益等	22,007	+1,279
経費(除く臨時処理分等)	△14,086	+27
<b>連結業務純益 + ETF関係損益等</b>	<b>7,997</b>	<b>+1,271</b>
うち顧客部門	5,496	+1,028 <sup>*1</sup>
うち市場部門	2,682	+604 <sup>*1</sup>
(連結業務純益)	(7,977)	(+1,357)
与信関係費用	△2,049	△332
株式等関係損益 - ETF関係損益等	100	△1,164
経常利益	5,363	△1,015
特別損益	1,158 <sup>*2</sup>	+1,350
<b>親会社株主純利益</b>	<b>4,710</b>	<b>+224</b>
普通株式等Tier1比率 <sup>*3</sup>	<b>9.1%</b>	<b>+0.3%</b>
一株あたり配当金 <sup>*4</sup>	<b>75円00銭</b>	<b>±0銭</b>

\*1: 前年度の計数を20年度管理会計ルールに組み替えて算出

\*2: 年金制度改定に伴う特別利益588億円、退職給付信託返還益769億円

\*3: パーゼルⅢ・新規制・完全適用ベース、その他有価証券評価差額金を除く

- **連結業務純益 + ETF関係損益等：**  
顧客・市場部門ともに堅調に推移し、前年度比+18.9%増益
- **与信関係費用：**  
新型コロナ影響長期化等を踏まえたフォワード・ルッキングな引当計上も実施し、概ね年度計画並の水準
- **親会社株主純利益：**  
着実な本業収益の伸びが牽引し、前年度比+5.0%増益
- **普通株式等Tier1比率<sup>\*3</sup>：**  
9.1%と着実に積上げ、年間配当75円も予定通り実施

## 主要グループ会社の当期純利益

(億円)	20年度	前年度比
みずほ銀行(連結) <sup>*5</sup>	3,510	△362
みずほ信託銀行(連結)	442	+27
みずほ証券(連結)	755	+541
アセットマネジメントOne	141	△8

\*4: 2020年10月1日に実施した10株を1株とする株式併合を考慮した金額を記載

\*5: 米国みずほ証券の当期純利益468億円(前年度比+261億円)を含む

# カンパニー別業績

(億円)

グループ合算、管理会計

	業務粗利益 <sup>*1</sup>		経費 (除く臨時処理分等)		業務純益 <sup>*1</sup>		当期純利益 <sup>*1*3</sup>	
	20年度	前年度比 <sup>*2</sup>	20年度	前年度比 <sup>*2</sup>	20年度	前年度比 <sup>*2</sup>	20年度	前年度比 <sup>*2</sup>
リテール・事業法人	6,799	+35	△6,406	+326	425	+303	264	+435
大企業・金融・公共法人	4,919	+323	△2,096	+61	2,861	+404	2,052	+106
グローバルコーポレート	4,506	+397	△2,511	△58	2,100	+345	1,137	+55
グローバルマーケット	4,872	+757	△2,182	△156	2,682	+604	1,742	+311
アセットマネジメント	504	△25	△329	+1	109	△24	44	△17
カンパニー合計	21,600	+1,488	△13,524	+175	8,178	+1,632	5,239	+890
FG連結	22,007	+1,279	△14,086	+27	7,997	+1,271	4,710	+224

\*1: グローバルマーケットには2行合算のETF関係損益を含む、FG連結には2行合算のETF関係損益、SC連結の営業有価証券等損益を含む

\*2: 前年度の計数を20年度管理会計ルールに組み替えて算出

\*3: 前年度に本部勘定にて計上したフォワード・ルッキング対応の与信関係費用(△393億円)を、前年度・本年度ともにリテール・事業法人と大企業・金融・公共法人に配賦した実態ベース

# B/Sの概要

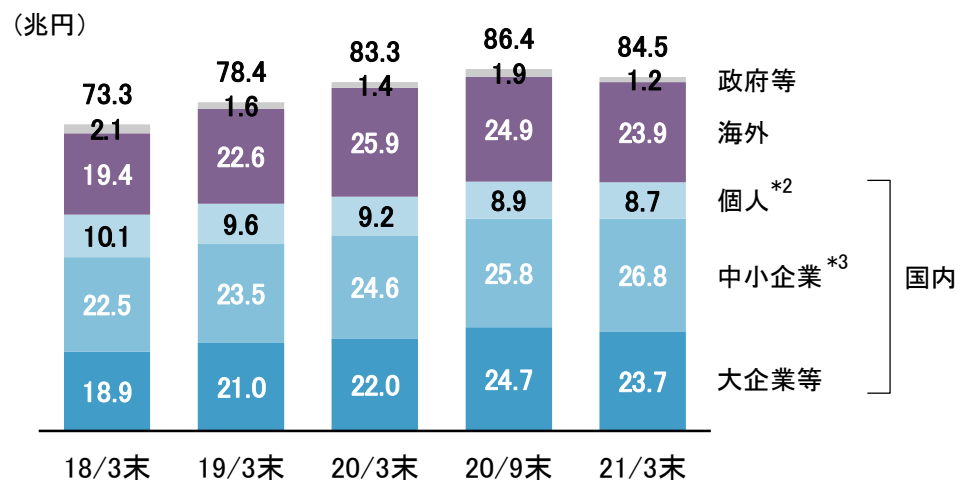
## 貸借対照表(21年3月末) 連結 ( )内は20/3末比

総資産 225兆円 (+10.9兆円)

<b>貸出金</b>	<b>預金・譲渡性預金</b>
<b>83兆円 (+0.2兆円)</b>	<b>150兆円 (+6.0兆円)</b>
<b>有価証券</b>	<b>その他</b>
<b>43兆円 (+8.7兆円)</b>	<b>65兆円 (+4.1兆円)</b>
日本国債 21.4兆円 (+8.3兆円) 外国債券 12.8兆円 (△0.2兆円) 日本株式 3.5兆円 (+0.7兆円)	<b>純資産</b>
<b>その他</b>	<b>9兆円 (+0.6兆円)</b>
<b>98兆円 (+1.9兆円)</b>	

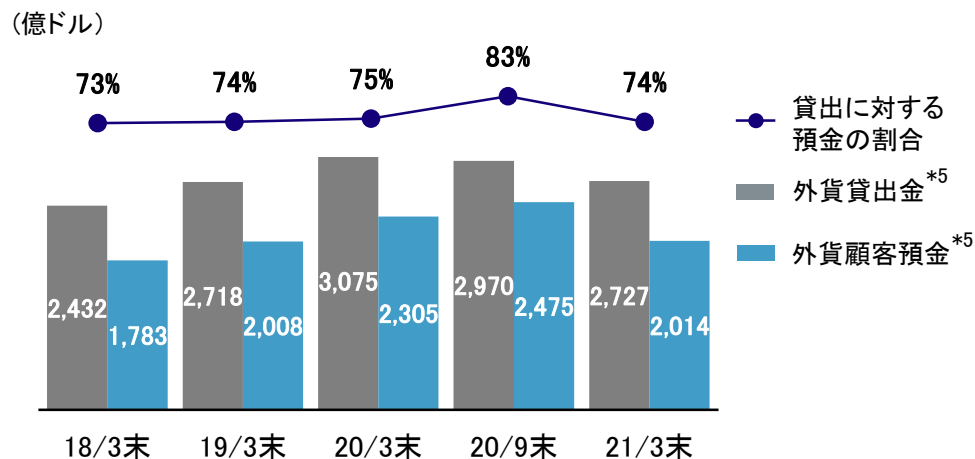
## 貸出金の内訳(末残)<sup>\*1</sup>

2行合算



## 外貨預貸構造(末残)<sup>\*4</sup>

BK、管理会計



\*1: FG向け貸出金を除く、銀行勘定 \*2: 消費者ローン残高 \*3: 中小企業等貸出金から消費者ローンを控除した金額

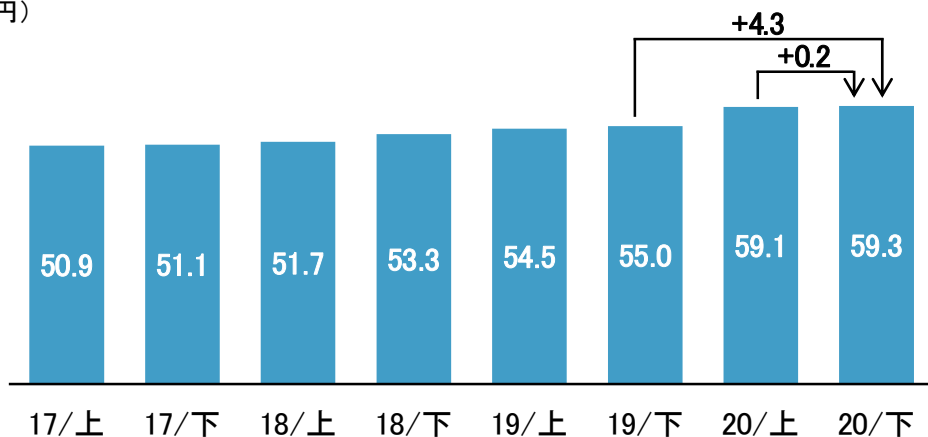
\*4: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人) \*5: 国内を含む。20年度管理会計ルール(18/3末~20/3末は遡及修正)

# 貸出金

## 国内貸出金(平残)<sup>\*1</sup>

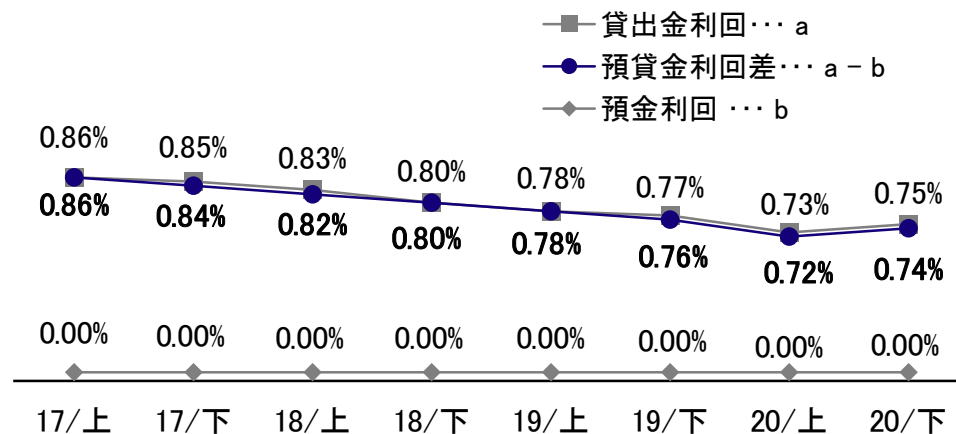
2行合算

(兆円)



## 国内預貸金利回差<sup>\*2</sup>

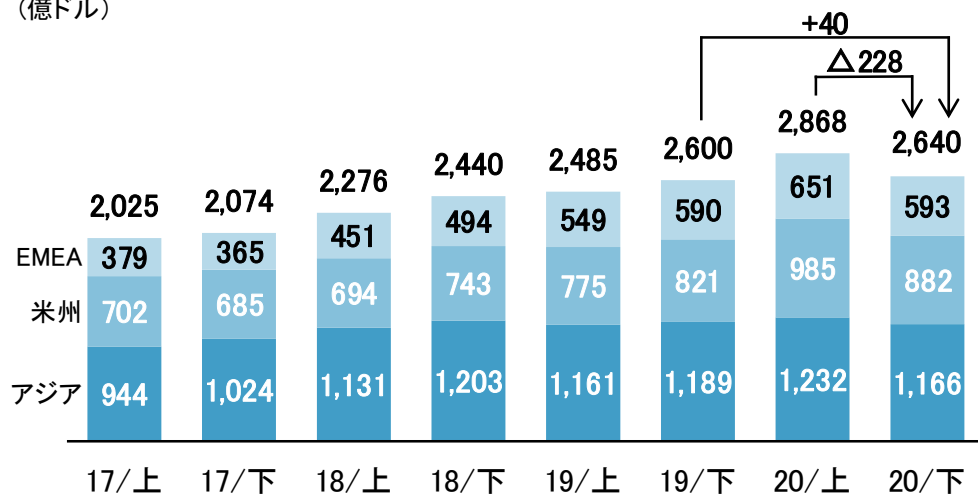
2行合算



## 海外貸出金(平残)<sup>\*3 \*4</sup>

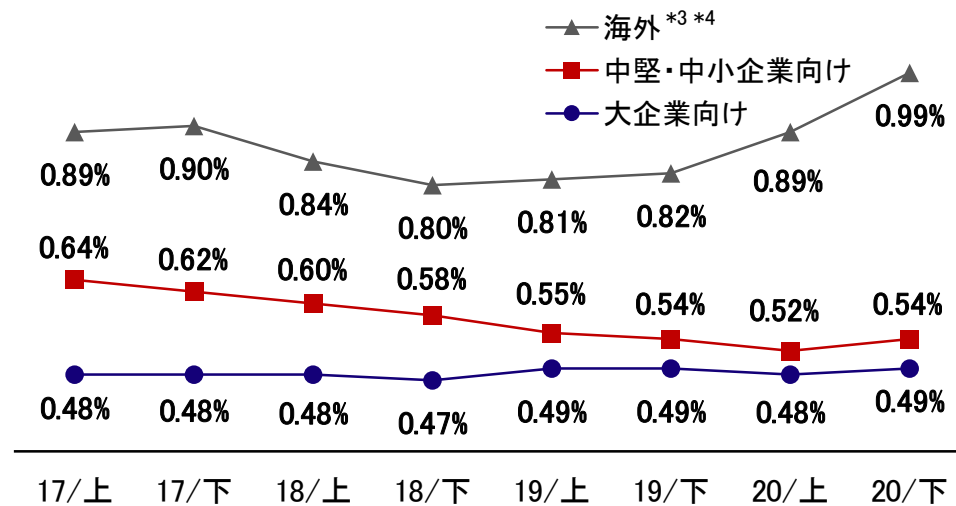
BK、管理会計

(億ドル)



## 貸出金スプレッド

BK、管理会計



\*1: FG及び政府等向け貸出金を除く、銀行勘定 \*2: 金融機関(FGを含む)・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

\*3: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人) \*4: 過去計数も含め、20年度計画レートにてドル換算

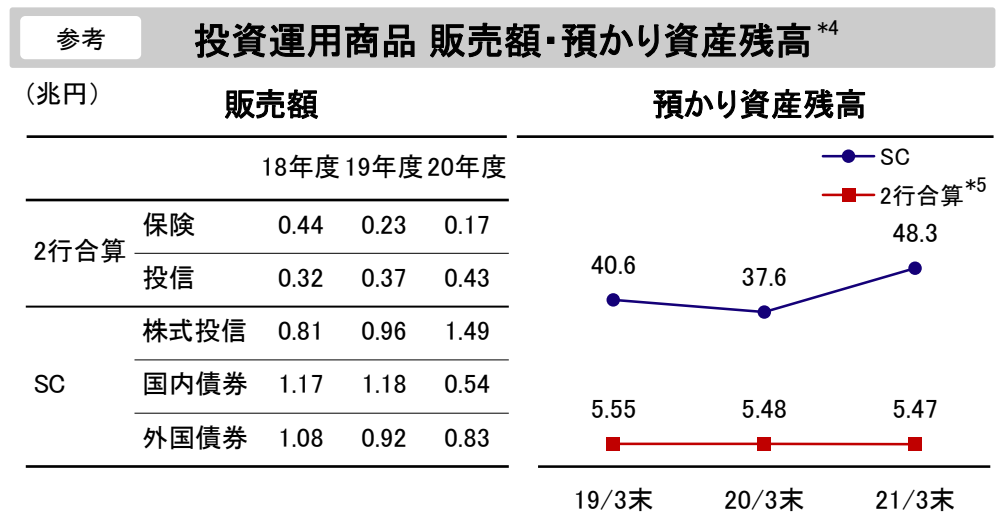
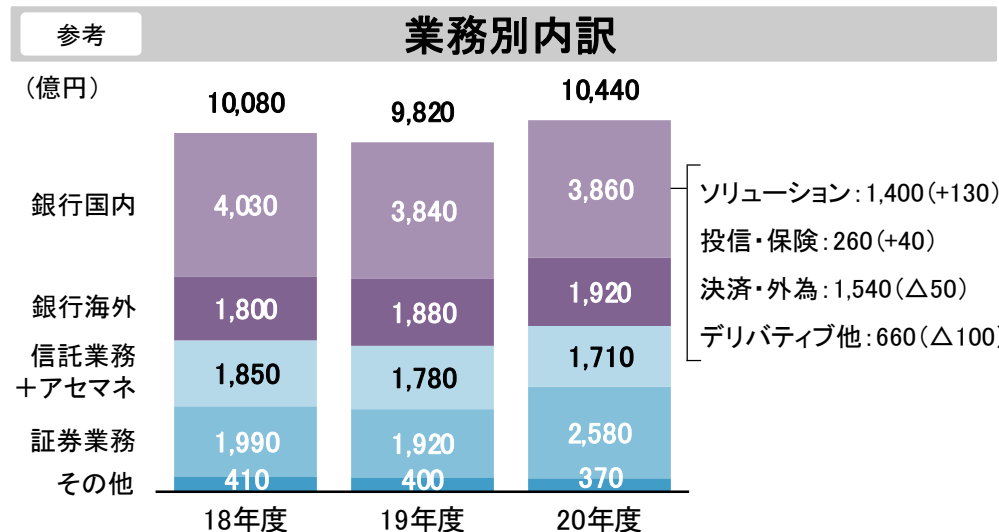
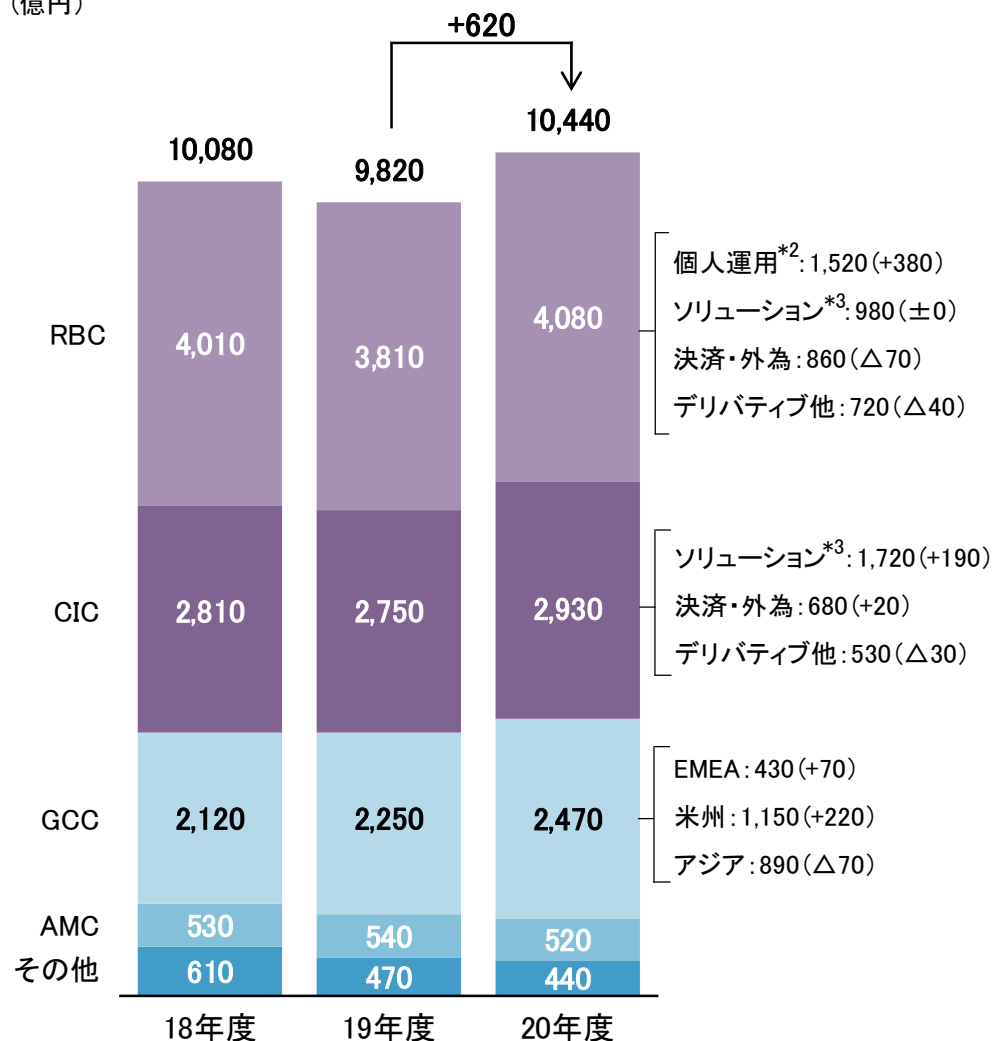
# 非金利収支

## 非金利収支(顧客部門)<sup>\*1</sup>

グループ合算、管理会計(概数)

( )内は前年度比

(億円)



\*1: 20年度計画レートの適用、管理対象範囲の拡大・精緻化により、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、18年度: 10,070億円、19年度: 9,840億円 \*2: BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント

\*3: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む \*4: SCはリテール事業法人部門、19/3末よりSC預かり資産残高の過去実績は定義変更に伴い遡及修正 \*5: 保険、投資信託(除くMMF)、外貨預金の合計値

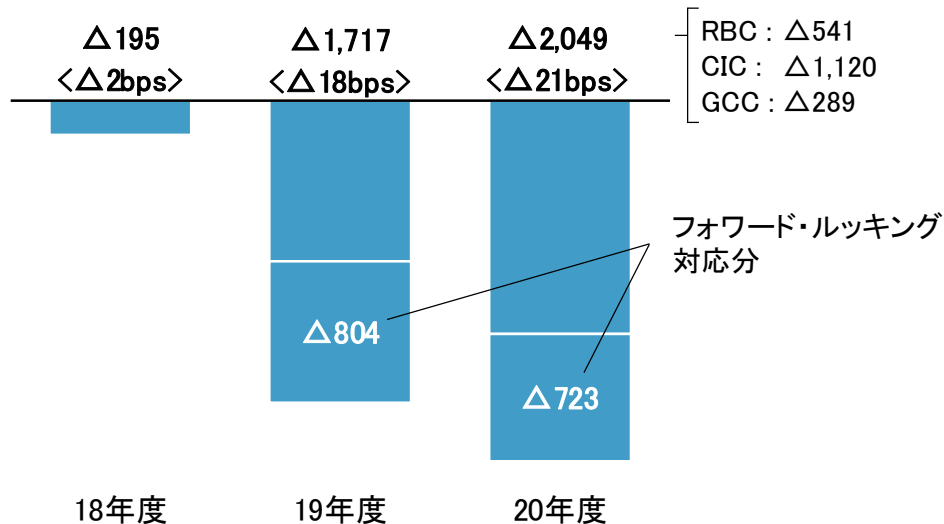
# クレジットポートフォリオ

## 与信関係費用

連結

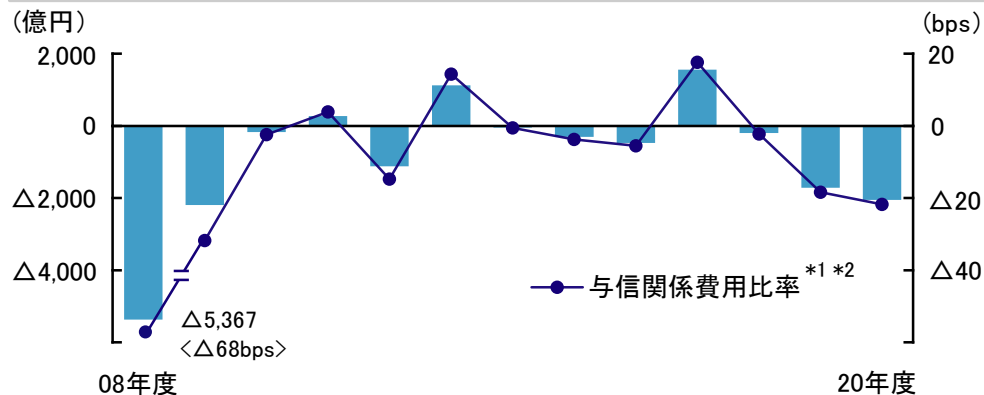
(億円)

< >内は与信関係費用比率\*1



参考

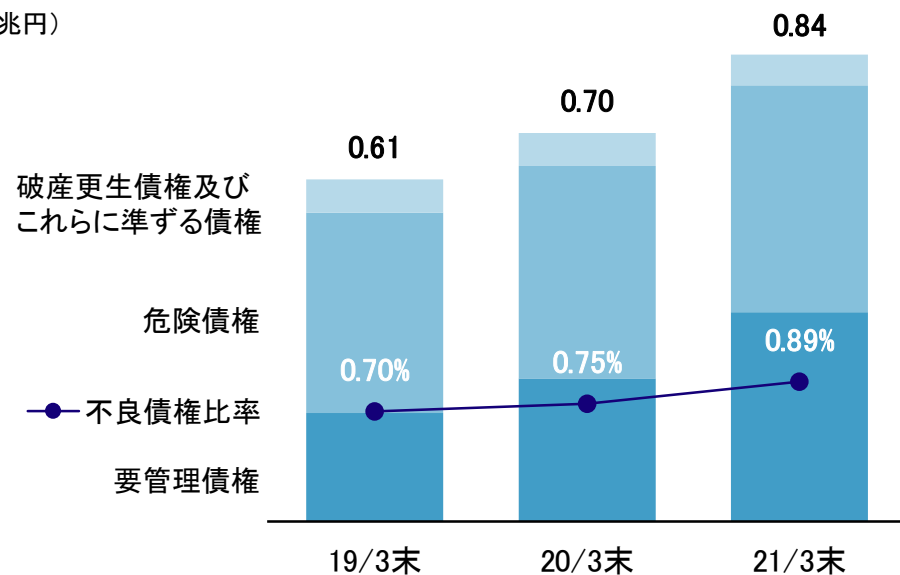
### 過年度推移



## 金融再生法開示債権<sup>\*3</sup>

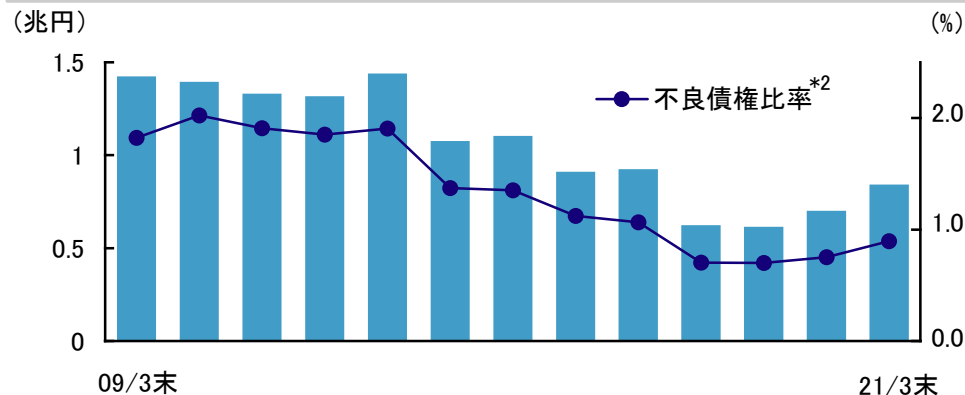
連結

(兆円)



参考

### 過年度推移

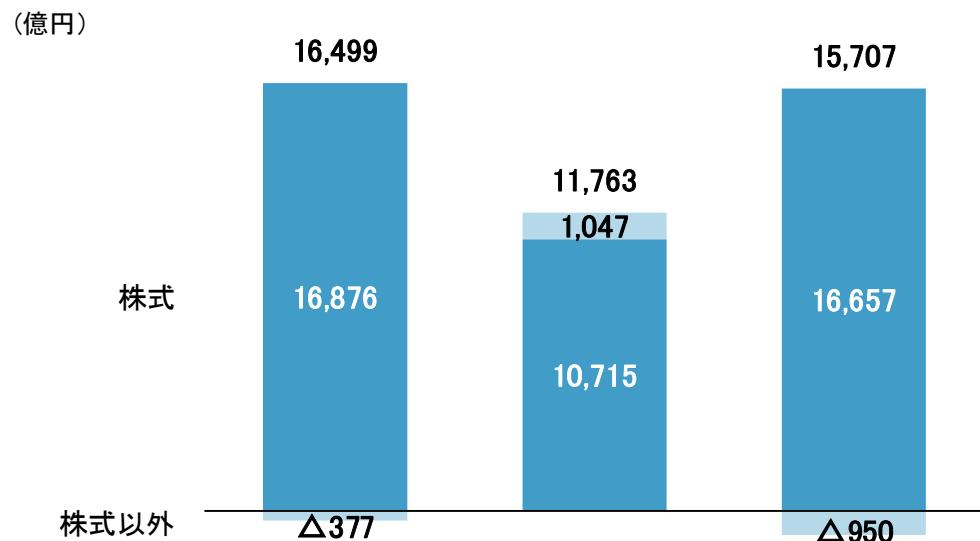


\*1: 与信関係費用 / 期末総与信残高(信託勘定を含む) \*2: 13年度以前は銀行単体合算の期末総与信残高を使用して算出 \*3: 信託勘定を含む



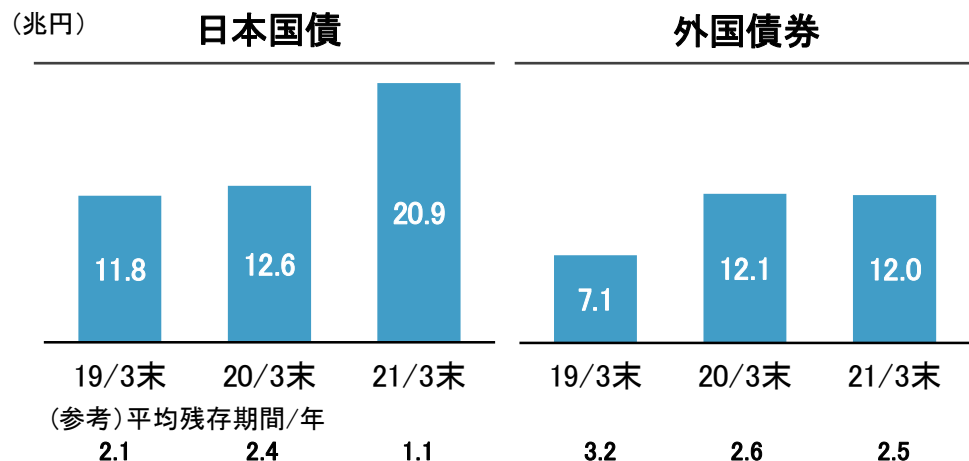
# 有価証券ポートフォリオ

## その他有価証券評価差額 <sup>\*1 \*2</sup> 連結

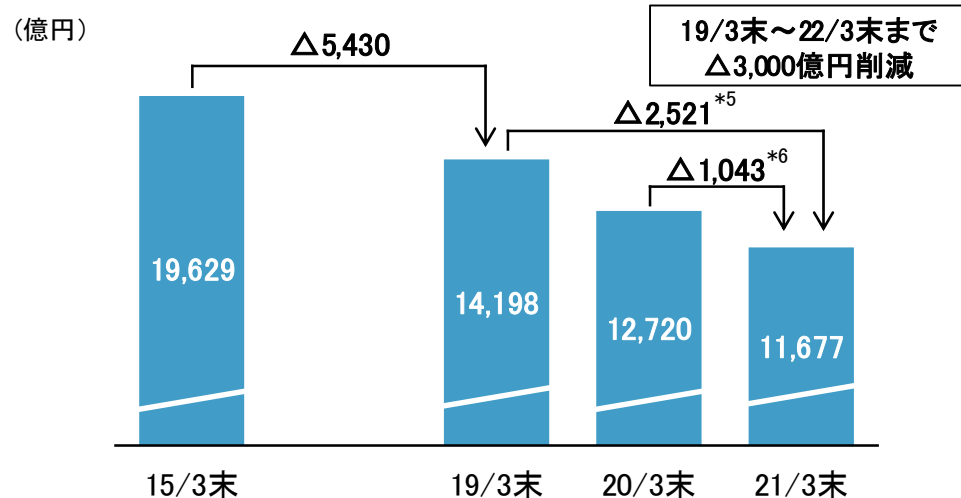


	19/3末	20/3末	21/3末
株式	16,876	10,715	16,657
株式以外	Δ377	1,047	Δ950
債券	52	Δ541	Δ449
うち国債	59	Δ440	Δ317
外国債券	217	2,009	Δ330
その他	Δ646	Δ420	Δ170
ベアファンド <sup>*3</sup>	—	862	Δ1,554
投資信託等	Δ646	Δ1,282	1,384

## 債券残高 <sup>\*2 \*4</sup> 2行合算



## 株式残高 <sup>\*2 \*4</sup> 連結



\*1: 純資産直入処理対象分、組合出資分を除く。21/3末: 期末日の時価に基づいて算定。19/3末・20/3末: 株式は期末月1ヵ月の月中平均、それ以外は期末日の時価に基づいて算定  
 \*2: その他有価証券で時価のあるもの \*3: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分 \*4: 取得原価 \*5: うち売却額Δ2,194億円、減損Δ410億円 \*6: うち売却額Δ1,072億円、減損Δ17億円

# 自己資本

(連結、億円)	20/3末	21/3末
普通株式等Tier1資本	72,447	78,499
その他Tier1資本	17,796	18,519
Tier2資本	16,978	16,834
総自己資本	107,222	113,853
リスク・アセット	621,412	674,819
総エクスポージャー	2,209,775	2,005,466 <sup>*1</sup>

## 【自己資本比率】

普通株式等Tier1比率	11.65%	11.63%
同(その他有価証券評価差額金を除く)	11.00%	10.46%
Tier1比率	14.52%	14.37%
総自己資本比率	17.25%	16.87%

## 【その他規制諸比率】

レバレッジ比率	4.08%	4.83% <sup>*2</sup>
リスク・アセットベース外部TLAC比率	21.95%	21.42%
総エクスポージャーベース外部TLAC比率	7.16%	8.39% <sup>*2</sup>

\*1: 金融庁告示改正に伴い、2020年6月30日より総エクスポージャーの額から日本銀行に対する預け金の額を除外

\*2: 日本銀行に対する預け金の額を算入した場合のレバレッジ比率は4.03%、総エクスポージャーベース外部TLAC比率は6.99%

## 自己資本比率

- コロナ禍の資金繰り支援等によりリスク・アセットが増加するも、普通株式等Tier1比率は横ばいであり、引き続き規制水準対比十分な水準を確保

## その他規制諸比率

- レバレッジ比率、TLAC比率ともに、規制水準対比十分な水準を確保

## <参考>バーゼルⅢ・新規制・完全適用ベース

	20/3末	21/3末
普通株式等Tier1比率	9.3%	10.0%
同(その他有価証券評価差額金を除く)	8.8%	9.1%

- バーゼルⅢ・新規制・完全適用ベースでの普通株式等Tier1比率(その他有価証券評価差額金を除く)は9.1%に到達

# 2021年度計画

## 収益計画

連結 (億円)	20年度	21年度	
	実績	計画	前年度比
連結業務純益 + ETF関係損益等	7,997	7,900	△97
与信関係費用	△2,049	△1,000	+1,049
株式等関係損益 - ETF関係損益等	100	500	+399
経常利益	5,363	7,200	+1,836
親会社株主純利益	4,710	5,100	+389

2行合算 (億円)	20年度	21年度	
	実績	計画	前年度比
実質業務純益 + ETF関係損益	5,789	5,900	+110
与信関係費用	△2,015	△900	+1,115
株式等関係損益 - ETF関係損益	△110	500	+610
経常利益	3,219	5,400	+2,180
当期純利益	3,117	3,750	+632

## 資本政策

今次改定

自己資本充実、成長投資、株主還元強化の最適なバランスを実現

### 株主還元方針

今次改定

累進的な配当を基本とし、自己株式取得は機動的に実施

- 配当は、安定的な収益基盤の着実な成長に基づき、配当性向40%を目安に決定
- 自己株式取得は、業績と資本の状況、株価水準、成長投資機会等を勘案して決定

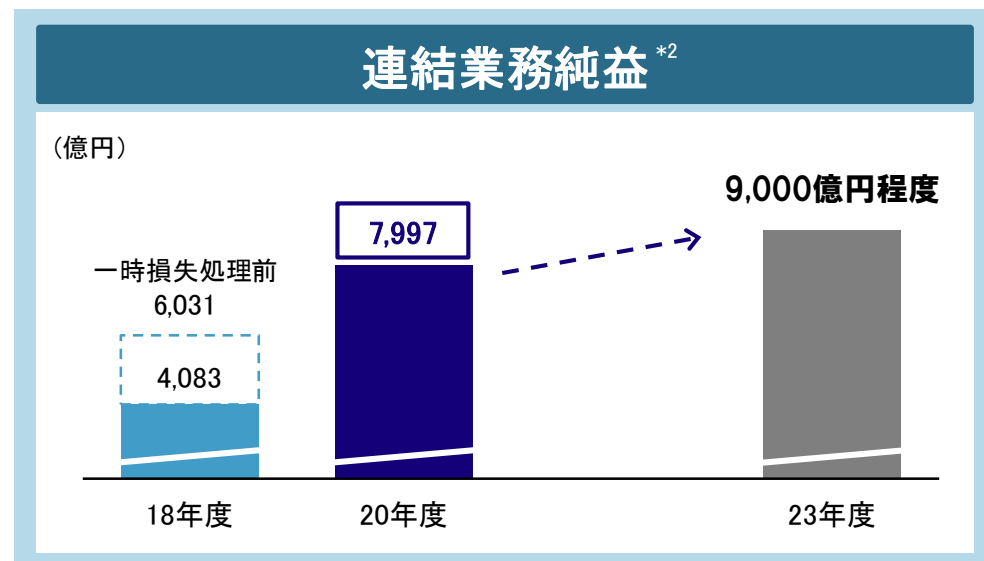
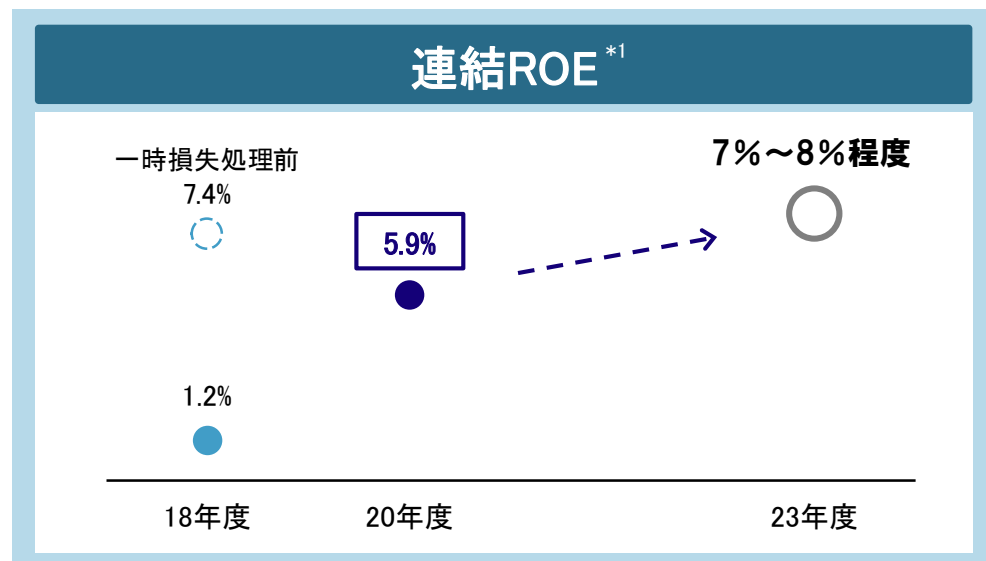
### 一株あたり配当金

	21年度	
		前年度比*
中間配当金(予想)	37円50銭	±0銭
期末配当金(予想)	37円50銭	±0銭
年間配当金(予想)	75円00銭	±0銭

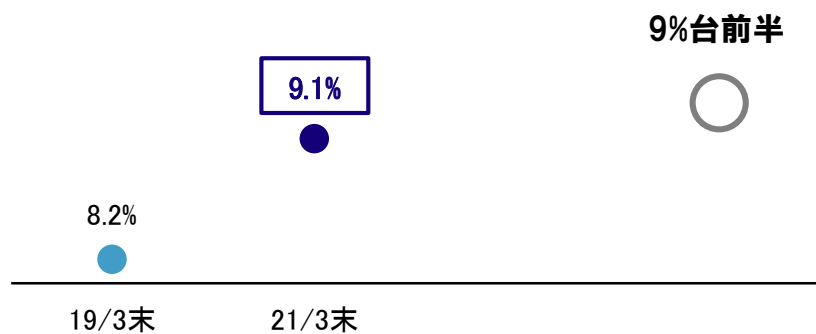
\*: 20年度は中間配当金・期末配当金とも37円50銭。中間配当金は、2020年10月1日に実施した10株を1株とする株式併合を考慮

# (参考)5カ年経営計画の進捗

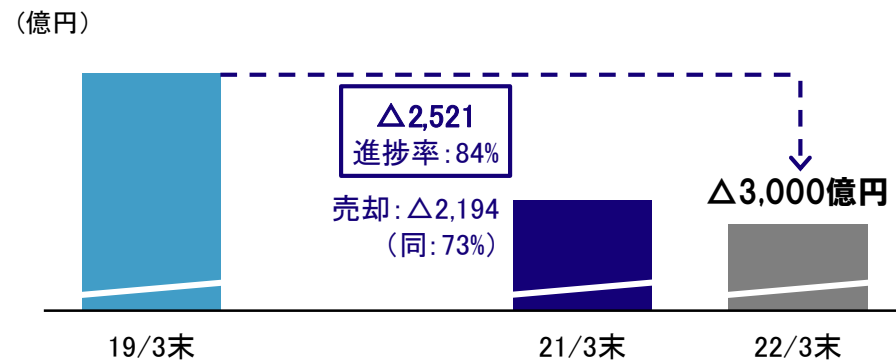
## 財務目標



### 普通株式等Tier1 (CET1)比率の目指す水準<sup>\*3</sup>



### 政策保有株式削減の取組み<sup>\*4</sup>



(23年度目標の前提となる金融指標) 日本国債10年利回り: 0.15%、日経平均株価: 22,100円、ドル円: 101円

\*1: その他有価証券評価差額金を除く \*2: 連結業務純益 + ETF関係損益等 \*3: バーゼルⅢ・新規制・完全適用ベース、その他有価証券評価差額金を除く \*4: 取得原価

# (参考) 抜本的構造改革の進捗

(概数)

20年度

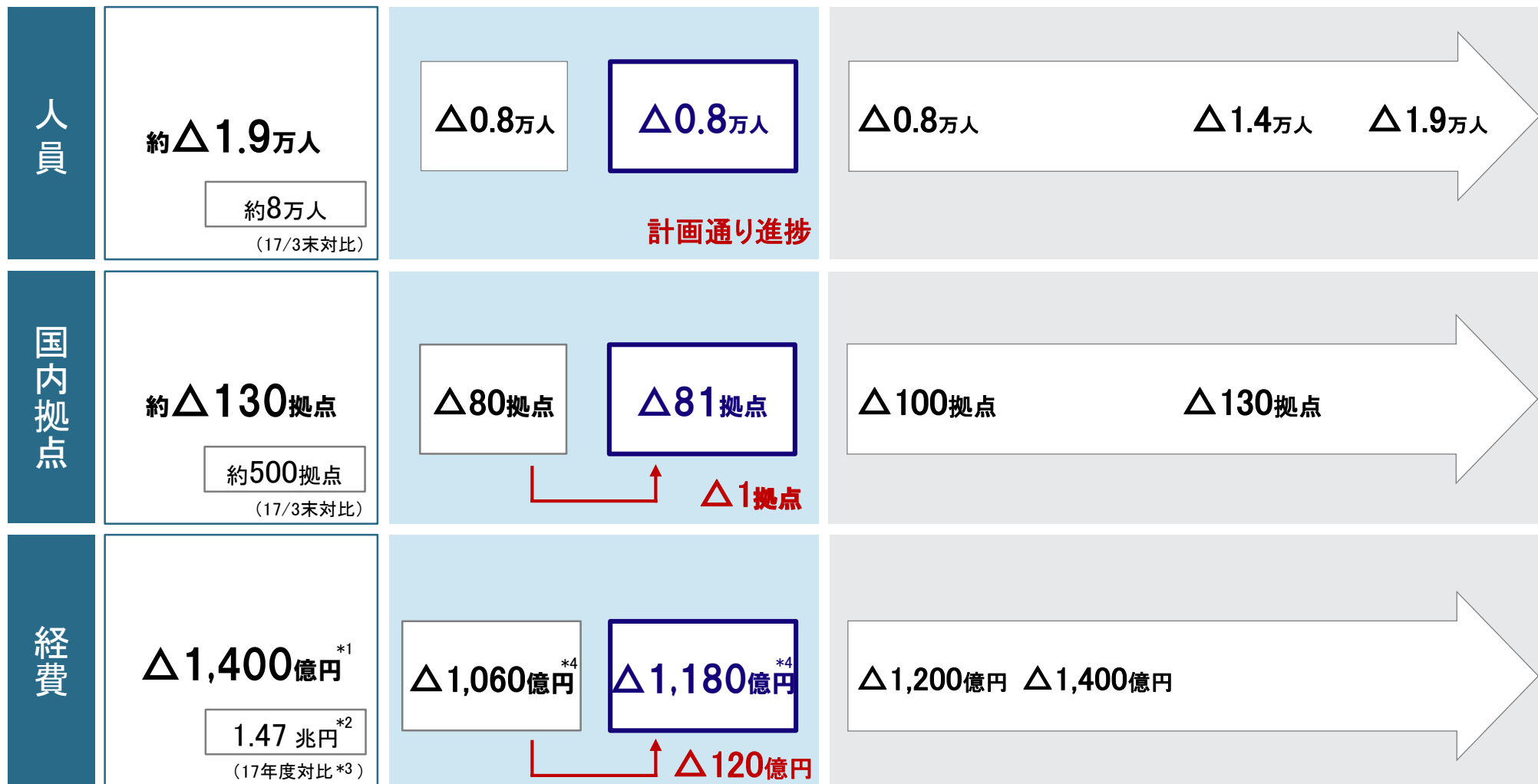
21年度 … 23年度

24年度 … 26年度

計 画

実 績

21年度以降は5ヵ年経営計画の公表値



\*1: 新勘定系システム関連償却費を除く削減額 \*2: グループ合算。19年度より管理会計ルールを変更、変更前は1.45兆円 \*3: 抜本的構造改革公表時点(17年11月)における17年度見込対比 \*4: 為替影響を除く